

ジャンルを越えた新しい物語発見の公開ミーティングと上映会を実施

新しい「地域創成の物語」発見の会

活動の目的

岡山と宮崎で活躍した日本の児童福祉の父石井十次が実は日本で最初の自主ドキュメンタリーの製作者であったこと、日本映画の創成期の大スター尾上松之助がやはり岡山出身で晩年京都の生活困窮者の住宅建設を含め多額の寄付を行った社会福祉家であったことは、岡山県民にはほとんど知られていません。また、石井十次を支えた大原孫三郎や尾上松之助を抜擢した牧野省三と金光のかかわりなどを含めた地域の価値を物語として発信できていません。私たちはこういった福祉、映画、美術、宗教史など縦割りでは見えなかった「地域創成の物語」を調べ、まとめ、広め、発信して私たちの暮らす岡山の新たな価値の創造と誇りを取り戻すことを目的として活動しています。

活動の内容及び経過

「ジャンルを越えて人が出会い影響を与え合いながら社会を変えていく。そんな地域創成の物語をみなさんと見つけていきます」との思いをこめて以下の4回の公開ミーティングと1回の特別上映会を開催しました。

- ・第1回「石井十次その映像と福祉の関わり」話題提供者：映画史研究者・世良利和氏、岡山映像ライブラリーセンター小松原貢氏。第3回「日本最初の映画スター・尾上松之助と日本映画の父・牧野省三」話題提供者：岡山県郷土文化財団学芸員万城あき氏。第4回「映画・福祉・美術・宗教史のジャンルを越えた地域創成の物語」話題提供者：大原美術館学芸統括柳沢秀行氏。第5回「人々が出会い学び交流する新しい観光の可能性について」話題提供者：岡山県フィルムコミッション協議会FCコーディネーター妹尾真由子氏。
- ・第2回特別企画「無声映画カツベン上映会・講演会」上映作品：1924年制作「性は善」監督川口吉太郎、1925年制作「少年美談 清き心」監督内田吐夢、活弁士：矢吹むつみ氏・勝利氏、講演：世良利和氏。

活動の成果・効果

- ①活動の目的でもあった福祉・映画・美術のジャンルを越えた地域の物語を、現在多方面で活躍される方々に話題提供していただき、多様な視点を持つことができた。
- ②呼びかけに応じていただき、岡山市の新市民会館建設関係者、映画関係本の執筆者、映画祭関係者、報道機関の方等多様な方々の参加をいただくことができた。
- ③また話題提供者の方のお話の後に参加者が互いの知見を出し合いながらその内容を深めることができた。
- ④公開ミーティングで調べ明らかになった貴重な内容の記



1回「石井十次その映像と福祉の関わり」



3回「日本最初の映画スター・尾上松之助と日本映画の父・牧野省三」



4回「ジャンルを越えた地域創成の物語」 5回「人々が出会い学び交流する新しい観光」

録を取ることができ、今後の発信の財産を得ることができた。

- ⑤コロナ禍の開催ではあったが無声映画上映会も含め本当に多くの方に助けていただいて無事に全予定事業を実施することができたこと。そして新しい方ともこの企画を通じてつながることができたことが最大の成果となった。

今後の課題と問題点

- ①高校生や大学生を含め多様な方々の参加で公開ミーティングを行うことができたが、高校や大学との連携については持つことができなかった。
- ②公開ミーティングで得た財産をどのような形で"見える化"していくか、具体的に方法を決めて発信するには至らなかった。

- 代表者：阿部幸乃 ●所在地：岡山市南区泉田
- TEL：080-6337-9303
- E-MAIL：abefive5@sepia.megaegg.ne.jp
- 設立年：2019年 ●メンバー数：5名